

# インターネット活用

世界一干か所以上で災害んだホームページを開設し、や戦禍の医療救援活動を行っている。

国際的な医療情報を盛り込んでいる。AMD A (アジア 大地震に見舞われた中国 雲南省や戦禍のボスニア・ヘルツェゴビナ、レバノン 医師連絡協議会、本部・岡 雲南省や戦禍のボスニア・ヘルツェゴビナ、レバノン 山市) は、昨年九月から、 などの活動内容や現地情

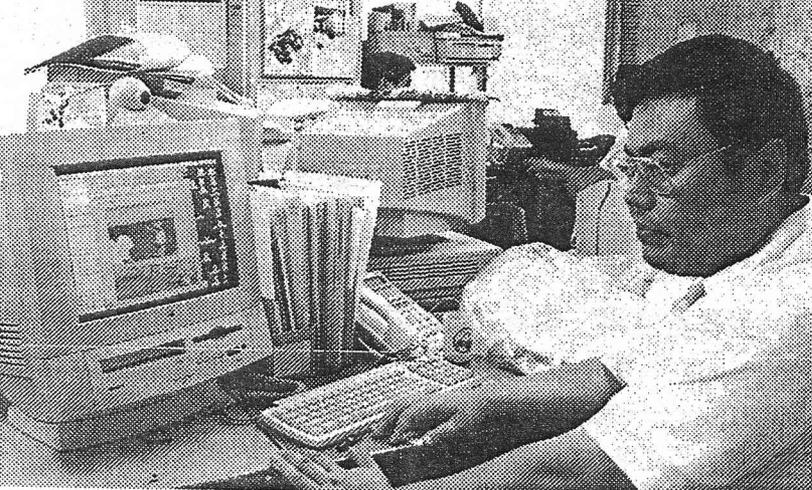
報を英語と日本語で紹介、専門医が作った熱帯医学に関するデータベースなど約百二十ヶを提供しており、記録するのをやめたほど海外からのアクセスも増えている。

防災の日の今月一日には、東京都と足立区の合同防災訓練会場の画像をインターネットでAMD A本部へ伝える訓練を初めて実施した。被災地の状況をカメラで瞬時に把握、救援活動に役立てる新しい試み。

臨時の総合デジタル通信網 (ISDN) を引き、荒川の両岸に一台ずつパソコンを設営。回線の接続がスムーズにいかず動画は送れなかったものの、写真六枚をホームページに加えることに成功した。

AMD Aの医師沢田寛さん(三)は「技術力や機器の確保、現場での電源供給など課題も多いが、将来、国

防災の日の東京訓練会場からの画像を見る沢田寛医師



## 被災地に医療情報

AMD A

内にISDNが普及すれば、災害時に対応でき、海外では衛星を利用して送受信できるようになるのでは」と期待している。

アドレスは (<http://www.anda.or.jp>)。

◇

地震を示す赤と黄色の丸印で、地図の上がびっしり埋まる。京都大防災研究所地震予知研究センター (京都府宇治市) が今年四月から始めた地震情報のインターネットは、一目で、近畿地方のどこで、どの程度の規模の地震が起きたかわかる。

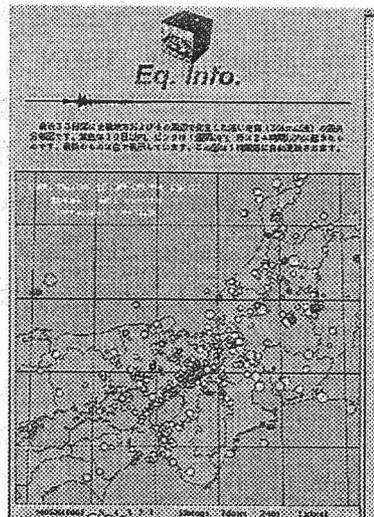
一 九九四年に起きた兵庫県猪名川町の群発地震で、住民の間から地震情報を求める声が上がリ、役場ロビーの端末で情報を流したのがわかる。

### 地震発生を示す丸印が並ぶ京都大のホームページ

がわかる。

地震は体感できない程度のものがほとんどだが、約一か月で地図上の京都府や兵庫県南部などは発生を示す丸印がずらりと並ぶ。近い。今後は市民にアンケートを取り、どんな情報が役に立つかを調べ、わかりやすく提供したい」と意欲を見せる。

アドレスは (<http://www.rcep.dpri.kyoto-u.ac.jp>)。



消防庁防災情報室情報企画係長

石川 家継さん 35

今年に入ってからインターネットが爆発的な広がりを見せ、五月までに全国二百二十の自治体がホームページを持っていく。特徴は、防災に関する情報をほとんどが盛ったホームページを開設するに込んでいることだ。防災情報の交換する媒体は、防災無線や通信衛星回線などがあるが、インターネットも大きな存在になっていく。消防庁も九月中旬に、地震対策などをつかきやすく説明したホームページを開設する。災害時の援助物資や安全の情報提供はもちろんだが、防災面で最も重要な国や自治体、住民間の「情報の共有化」にも貢献する。